

科目コード: 1100

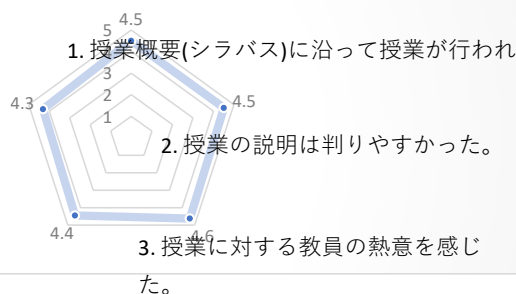
科目名 幼保1年 専門科目

回答者数: 1037 名

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	601	367	67	0	2	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	633	322	67	11	4	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	706	280	47	2	2	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	608	303	110	11	5	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	481	413	126	9	8	4.3
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

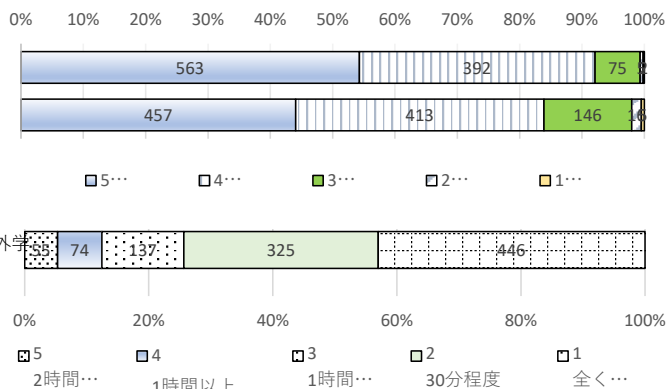
この授業を受講したことによって、
この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックが
あった。



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	563	392	75	5	2	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	457	413	146	16	5	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	55	74	137	325	446	2.0

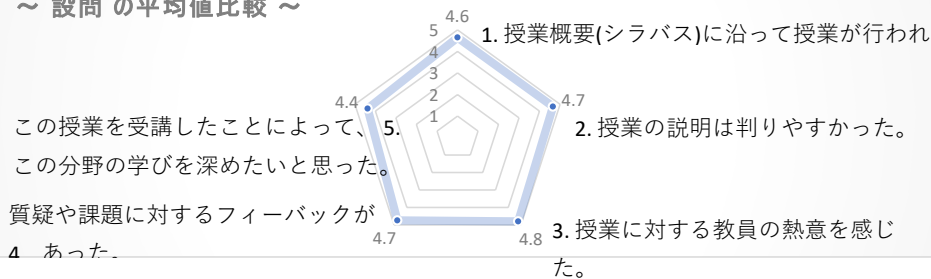
2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。



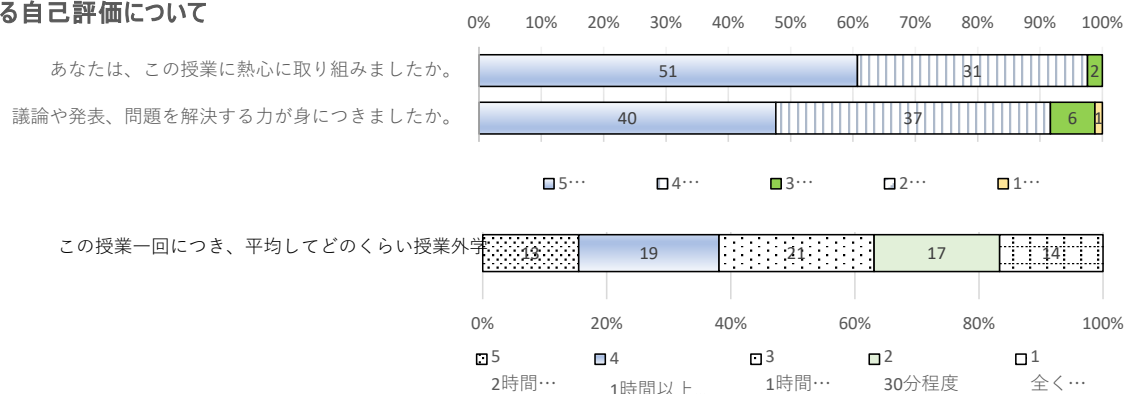
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	57	24	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	55	29	0	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	67	17	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	63	20	1	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	39	40	4	0	1	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	51	31	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	40	37	6	0	1	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	13	19	21	17	14	3.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

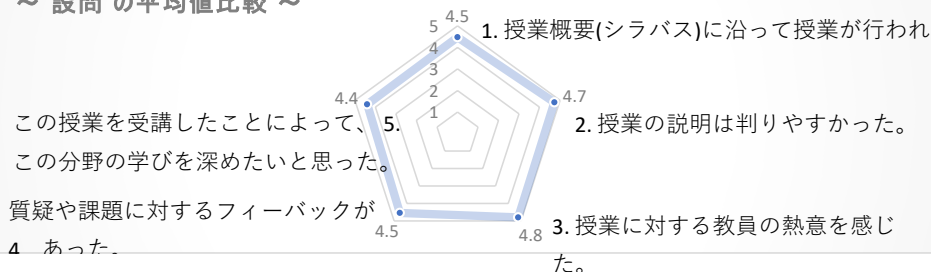
保育者を目指す学生の視野を広げることをねらいとして、毎回の基本的な事柄と併せて新聞記事を提示し、感想を書かせた。やや学生の負担が大きかったかもしれない。授業外学習時間も、その多くが新聞記事の感想レポートに費やされたかもしれない。「この分野の学びを深めたい」という学生の割合が、中ではやや低めであり、負担の重さとの関係があるとしたら、見直しが必要かもしれない。

②課題と展望(授業改善方策)

授業者としては、初めての「大教室(101教室)」での授業であった。出席の確認、学生相互の意見交換など、基本的な部分で今回の授業内容を精査し、講義一辺倒の受け身授業にならないように、工夫していきたい。まずは、学生相互の話し合い、活動場面の構築について(コロナ対応に留意しつつ)検討してみたい。

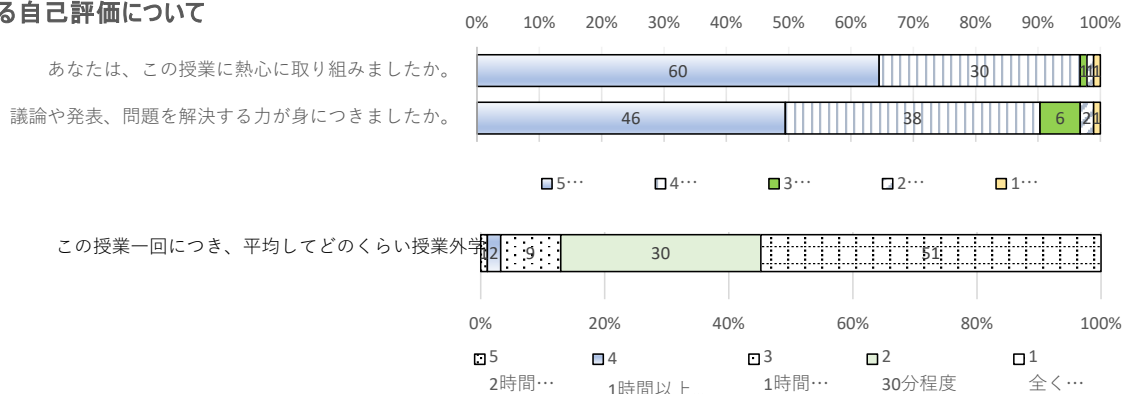
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	52	35	5	0	1	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	70	22	0	0	1	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	79	11	2	0	1	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	62	22	8	0	1	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	52	29	10	1	1	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	60	30	1	1	1	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	46	38	6	2	1	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	9	30	51	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「教育原理」を学ぶ楽しさ、意義を理解してもらうために、パワーポイントを使って資料を作成し、講義資料の改善に努めた結果、平均4.6という評価を得られたと考える。

また、毎回、講義内容の振り返りのための小テストを実施し、コメントを入れて返却した。小テストの実施による学習内容の定着化は、学生の自由記述から見ても有効であったと考えられる。今後も、楽しく学べる「教育原理」の講義内容の改善に努めていきたい。

設問Ⅰ「(2) 授業の説明はわかりやすかったか。」については平均4.7、「授業に対する教員の熱意を感じた」については平均4.8と「教育原理」の講義については高く評価されていたと考えられる。

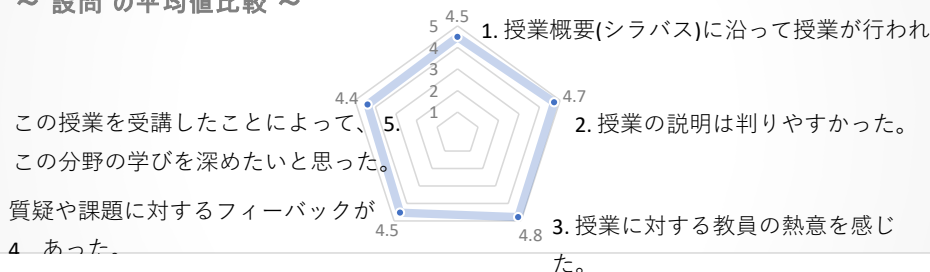
②課題と展望(授業改善方策)

学生の自由記述から、わかりやすい授業を望み、適切なフィードバックが必要であることを改めて感じた。今年度、学生同士の討論、討論内容の発表の時間を意識した授業改善を行った。学生の感想などからその有効性が確認できた。

今後も、学生の授業への参加意識を高めるとともに、発表力の向上のために、意見交換等の話し合い活動を充実させていきたい。

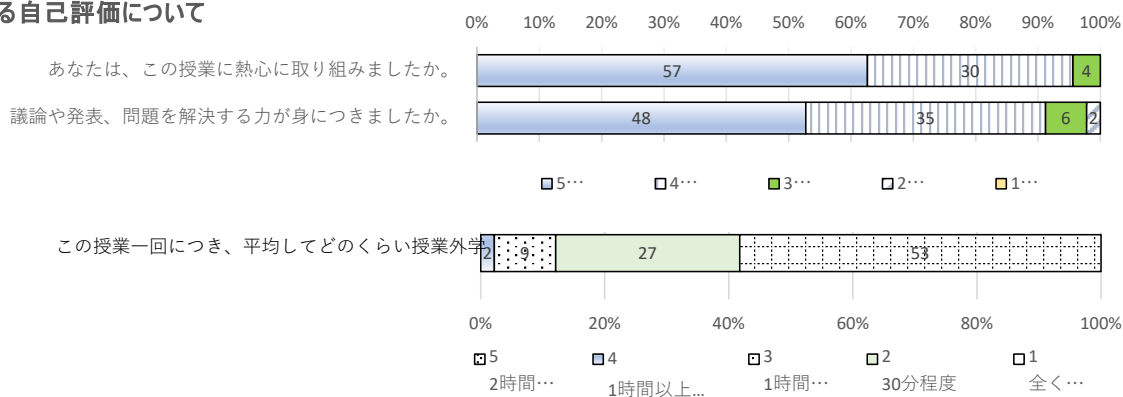
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	52	33	5	0	1	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	70	18	2	0	1	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	76	12	2	0	1	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	60	21	9	0	1	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	47	33	10	1	0	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	57	30	4	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	48	35	6	2	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	9	27	53	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「保育原理」は、学生が保育を学ぶ上で最も基本的な内容を学ぶ時間である。保育に関する基本的な内容を楽しく学ぶためには、講義内容、指導方法の工夫改善が必要である。そのために、毎回、自作のパワーポイントの資料を作成し、講義資料の工夫改善に努めた結果、総平均4.6と良好な評価を得ることができた。

また、設問Ⅰ「(2)授業の説明はわかりやすかったか。」平均4.7、「授業に対する教員の熱意を感じた。」については平均4.8、設問Ⅱ「(2)あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか？」平均4.6、「議論や発表、問題を解決する力身につきましたか」平均4.4と、改めて相互の関係があることを実感した。今後の講義内容の工夫改善に取り組むたい。

②課題と展望(授業改善方策)

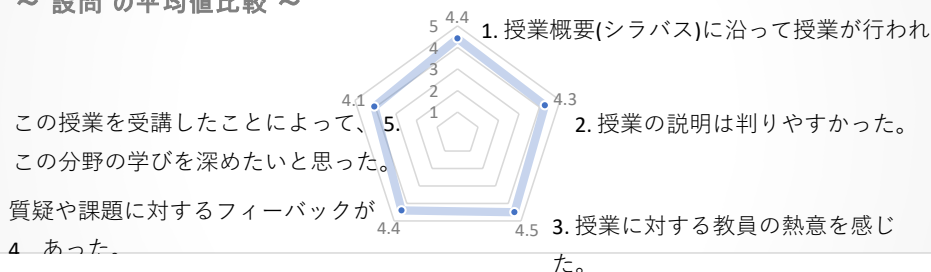
今後も、わかりやすい講義内容をめざし、授業アンケートを活用し、学生が意欲的に授業に取り組めるように、講義内容の工夫、改善を目指していきたい。

今年度は、学生のプレゼンテーション能力を向上させるために、学生同士の意見交換、話し合い活動を意図的に毎時間取り入れてきた。自由記述からその有効性が確認できた。

小テストは学力の定着化を図る上で有効であったことから、今後も継続して実施するとともに、記述する内容にも工夫改善を行い、学びの軌跡がわかるようにしていきたい。

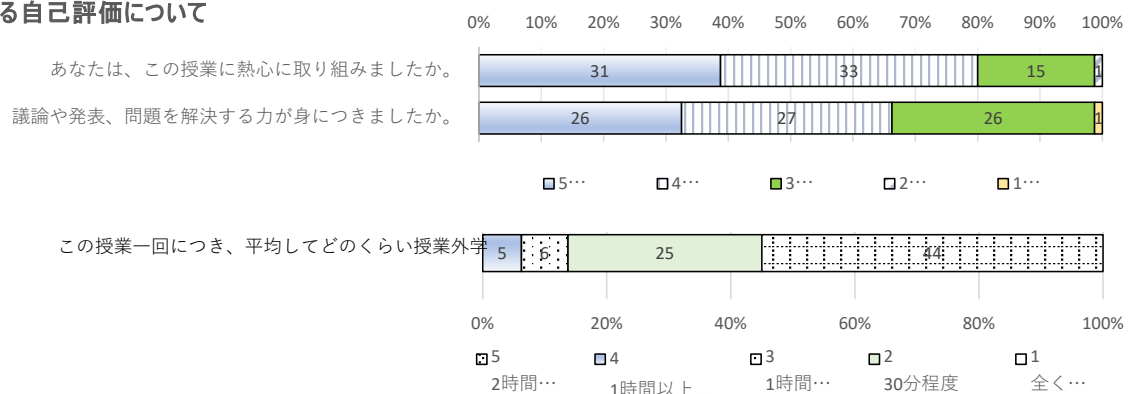
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	40	33	7	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	40	25	12	2	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	46	28	6	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	47	21	10	1	1	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	27	32	20	0	1	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	31	33	15	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	26	27	26	0	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	5	6	25	44	1.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅱ(3)の授業外学習時間を「全くしていない～30分程度」が69名もいるという結果に対しては今後の改善が必須である、と考察された。在宅での学習の習慣がある学生は、予習復習に取り組めており、理解度も高い。

設問Ⅱ(1)「あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか」の問いに「とてもそう思う」「そう思う」と答えた学生が64名もいることは、学生にとって興味関心の高い内容だ、と捉えられる。興味を高める課題の取り組み、及び授業の効果があつたと評価できる。

②課題と展望(授業改善方策)

学習は、予習復習があつてこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習を興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要があると思われる。

また、授業は学生の興味を持続させるために一方的でなく、学生同士が議論をやり取りできる内容にすることが今後の課題である。

科目コード: 1104

科目名 教育心理学

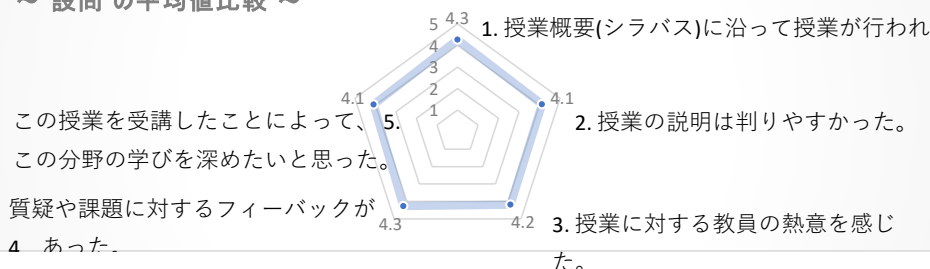
回答者数: 34 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義

担当者 高橋淳一郎

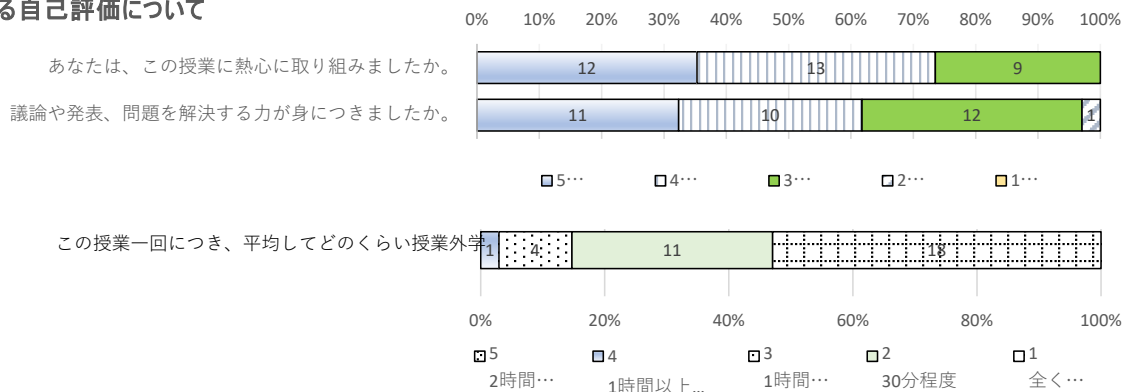
設問Ⅰ	項目	5 とても そう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	15	5	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	14	12	6	2	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	14	13	6	1	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	15	14	4	1	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	14	7	1	0	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	13	9	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	10	12	1	0	3.9
	項目	5 2時間	4 1時間以上	3 1時間	2 30分程度	1 全く	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	4	11	18	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

多くの学生がこの講義に対して好意的に受け止めていることがわかった。それに対して授業時間外学習が非常に少ない点が問題である。

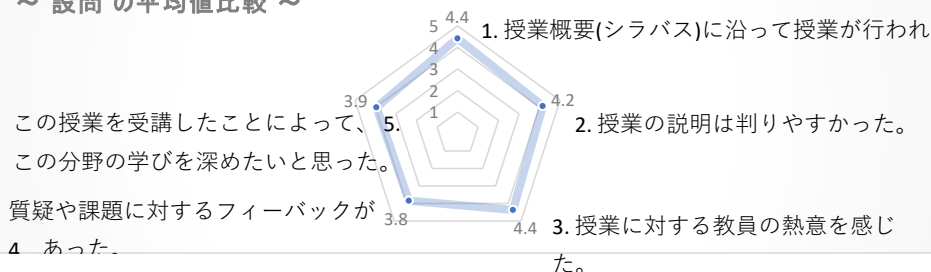
②課題と展望(授業改善方策)

リアクションペーパーを用いて双方向型の授業を展開しているため、フィードバックは十分に行われていると考える。学生自らが学びを深めたいという思いをもっと引き出すこと、および自ら学ぶことの2点を課題として、来年度の授業展開を修正していきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	7	2	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	7	3	1	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	8	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	6	5	2	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	7	5	1	0	3.9

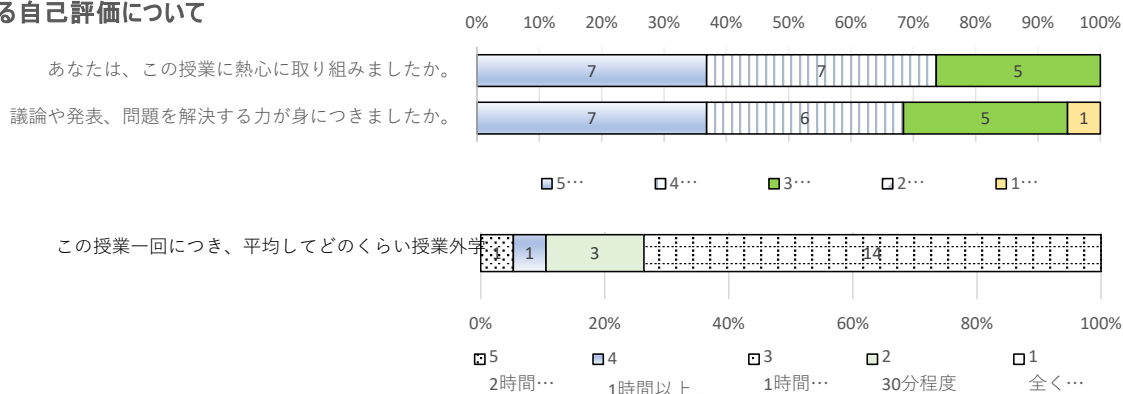
総平均 4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	7	5	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	6	5	0	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	0	3	14	1.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

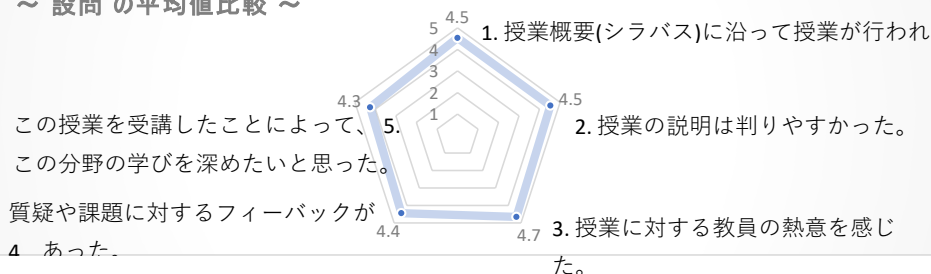
熱心に受講していただきありがとうございました。子どもの保健はとても幅広いので、よく理解し分野を統合して考えることが大変だと思います。子どもたちの毎日、毎日の生活と直結しています。理論的なことをしっかりと学習して根拠に基づいた実践ができるよう共に頑張ってください。

②課題と展望(授業改善方策)

全てが対面授業だったので、アクティブラーニングを少々取り入れて行くことができ、学習効果が上がったと感じています。ただ、学生間の感染予防の面においては心配がありました。学生一人一人が社会の情勢を把握して、どうしたら自分も仲間も危険回避ができるかを考える必要があると思います。また、予習、復習もしっかりしましょう。次年度はさらに学生が主体的に学習できるようにアクティブラーニングを取り入れて行きたいと考えます。

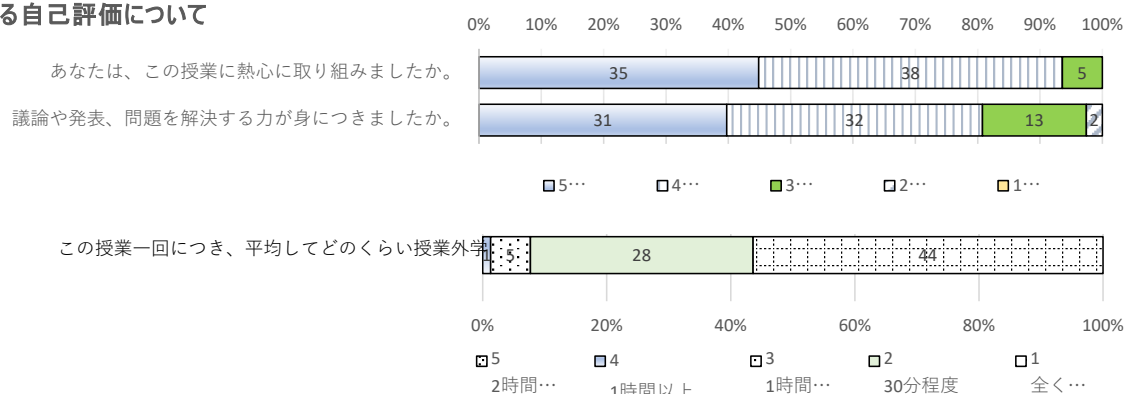
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	46	28	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	46	27	5	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	53	23	2	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	22	11	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	34	12	0	0	4.3
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	38	5	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	32	13	2	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	5	28	44	1.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

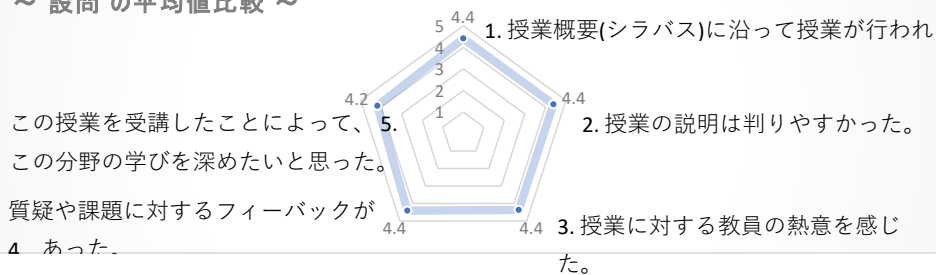
アンケート結果から、学生は本授業を受講しやすかったと考えていることが伺える。しかしながら、議論や発表、問題解決能力の向上については、約20%の学生が認められないと回答しており、これは、授業方法によるものと考えられる。本科目「健康」は、後期の「健康領域指導法」の基礎的科目となるため、領域健康の基本的な考え方や領域を展開するうえで必要となる保育・子どもの見方が授業内容の中心となる。授業は、学生各自が考えながら受講していくよう進めているが、個々が考え、自身のノートに記入するに留まっているため、じっくりと考える時間の足りない学生がいると思われる。各学生がじっくり考え、発表する機会を持つ必要がある。また、授業時間外学習において、半数以上の学生が全くしていないと回答していた。学生が、授業時間外学習の必要性を感じられるよう、その方策を検討していく。

②課題と展望(授業改善方策)

課題は、学生が議論や発表、問題解決能力の向上したと実感できる授業と、授業時間外学習の必要性を感じられるような授業を展開することである。これらの課題解決に向けては、各回にリアクションペーパーの記述を求めること、単元終了ごとにはグループワーク-発表を実施していきたい。これにより、学生自身が議論や発表、問題解決能力の向上を自覚し、この自覚により、授業内容への興味、授業時間外学習へと繋がっていくことを期待する。

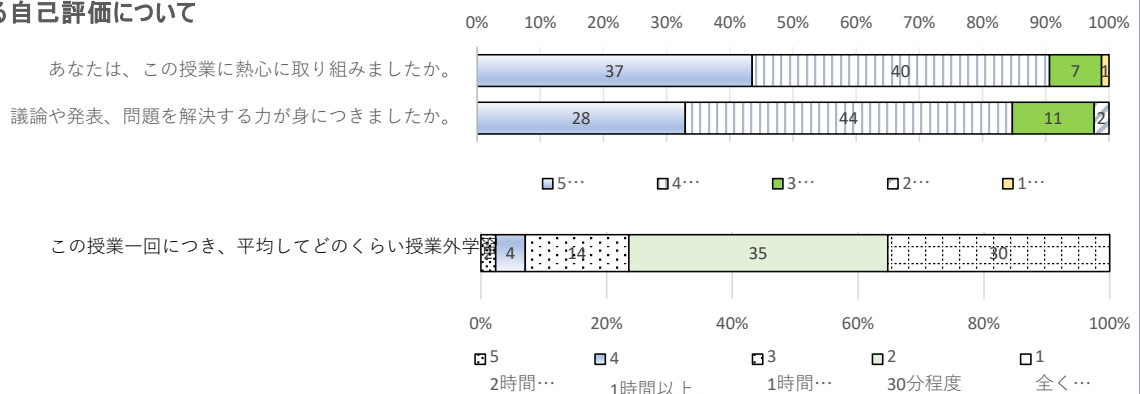
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	41	38	6	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	42	35	7	1	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	40	38	6	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	44	34	5	2	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	31	43	8	2	1	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	37	40	7	0	1	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	28	44	11	2	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	4	14	35	30	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

昨年より評価が上がっているので良かったです。平均的ですが、良い結果が得られたように思います。

②課題と展望(授業改善方策)

この科目に関する学びを深めたいという項目高いポイントにならなかった点で課題が残るかと思います。

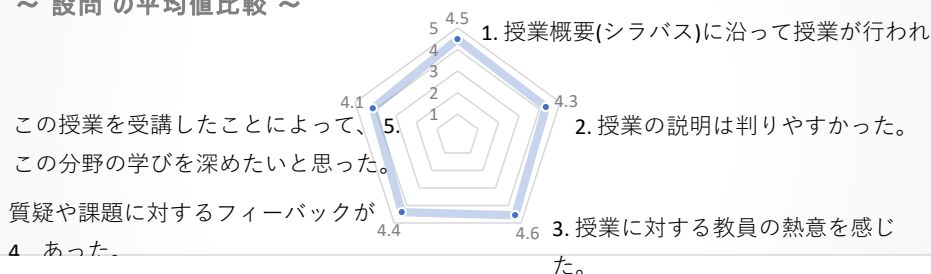
講義では、乳幼児のコミュニケーションの発達に関する理論の説明を重点的に行なっていますが、具体的関わりに関する内容を更に充実させていこうと思います。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	55	38	7	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	45	43	10	2	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	61	34	5	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	53	33	13	1	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	36	44	18	0	2	4.1

総平均

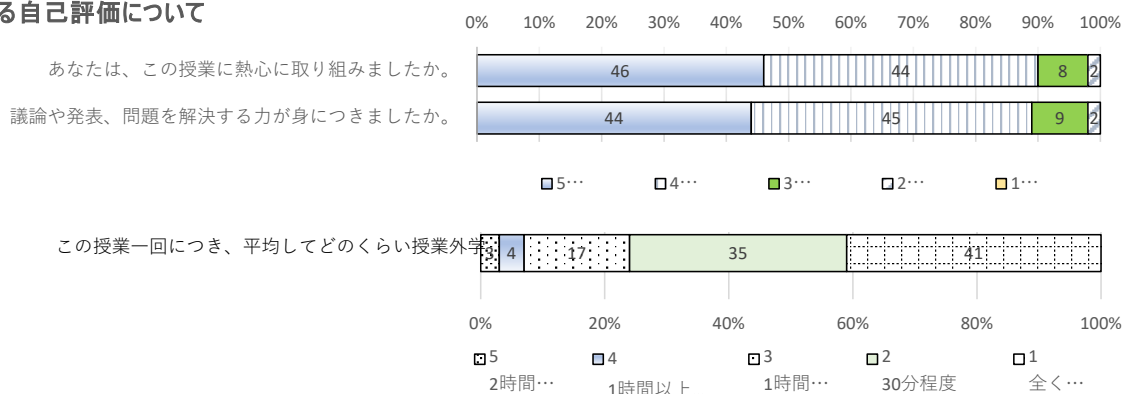
4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	46	44	8	2	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	44	45	9	2	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	4	17	35	41	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

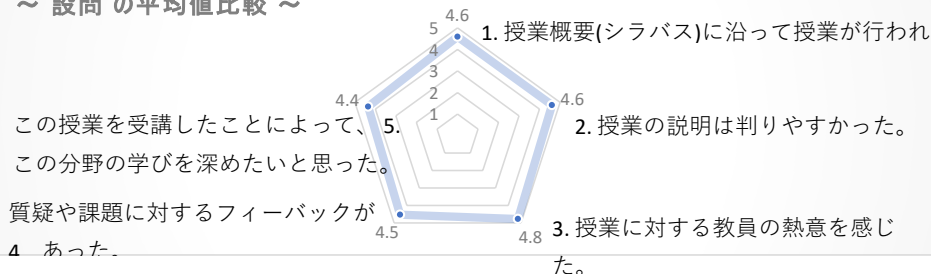
設問(2)の「授業の説明はわかりやすかった」とする項目の評価が低い。「授業がすごく分かりやすかったし、楽しく学べました。」「毎回の授業終わりや授業の最初に要点を説明してくれたため、理解しやすかった。」等のコメントもあったが、学修者に理解しやすい説明の仕方を考える必要があります。また、設問(5)の「この分野の学びを深めたいと思った」の項目が評価が低い。「園に就職してから、子どもに接する時にすぐに使える事を勉強していると思いました。」といったコメントもあるが、さらに領域「環境」の学びそのもののおもしろさや幼児と学びを深めるおもしろさを伝えられる授業を考えていく必要があります。

②課題と展望(授業改善方策)

領域「環境」の学修で、この授業で何を学ぶのか。学習後に自分のなかで何がどのように変わったのか、各テーマの要点は何だったのか、何が身についたのかといった振り返りが十分できていない様子が見受けられます。本学修では、学習履歴表を使って、学修前後の成長について確認すること、絶えずこの学びでの一番大切なことは何かを学修の前後で振り返ることを行っています。外化・可視化・内化・内省・メタ認知的な活動を行うことで、SDGsが求める質の高い教育を推進していきたいと思います。加えて、領域「環境」の活動のおもしろさを伝えられる体験を重視した授業を行っていきます。

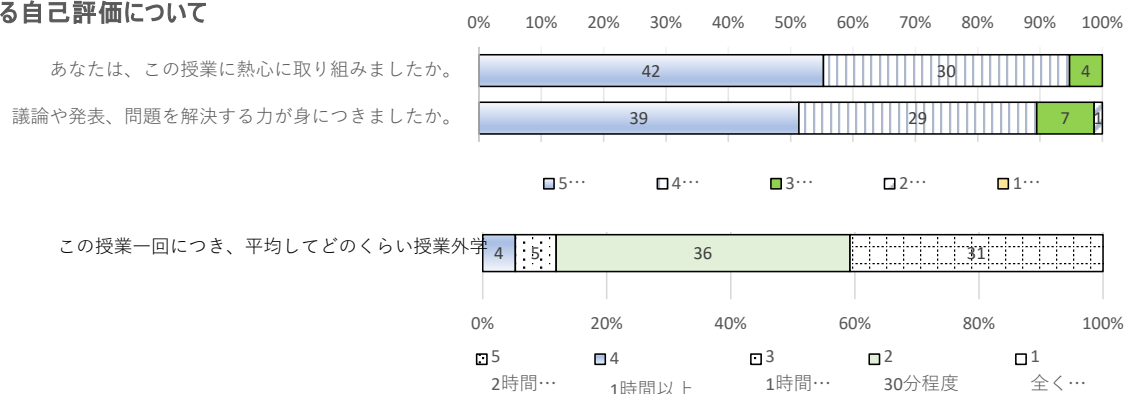
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	50	21	5	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	52	18	6	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	60	15	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	48	20	8	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	37	30	8	1	0	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	42	30	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	39	29	7	1	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	5	36	31	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

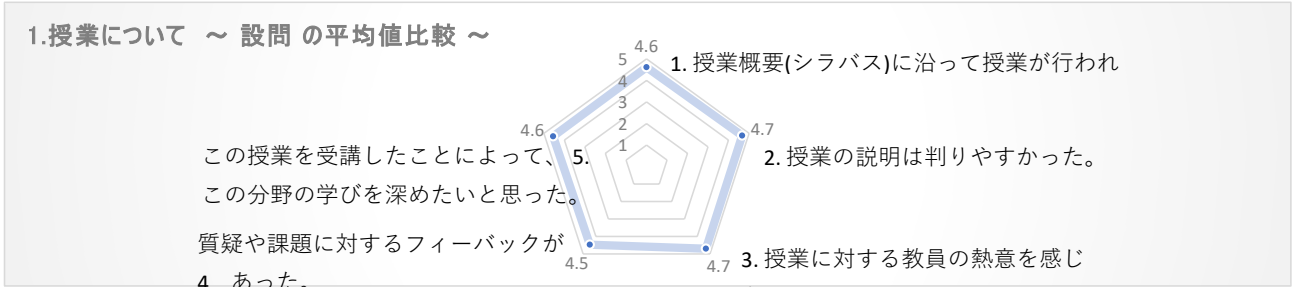
①現状(アンケート結果に対する考察)

毎回の授業の初めに「発表学修」として、絵本の読み聞かせや手遊びなどの発表を順番で実施した。学生の取組、反応も悪くはなかった。ただ、授業の本編が、幼い子どもの言葉の成長の特性や、それに対する保育者の留意事項などが中心であるため、発表学修の内容が、本編とどのようにつながるのか、学生自身が認識を強く持つよう指導する必要があった。

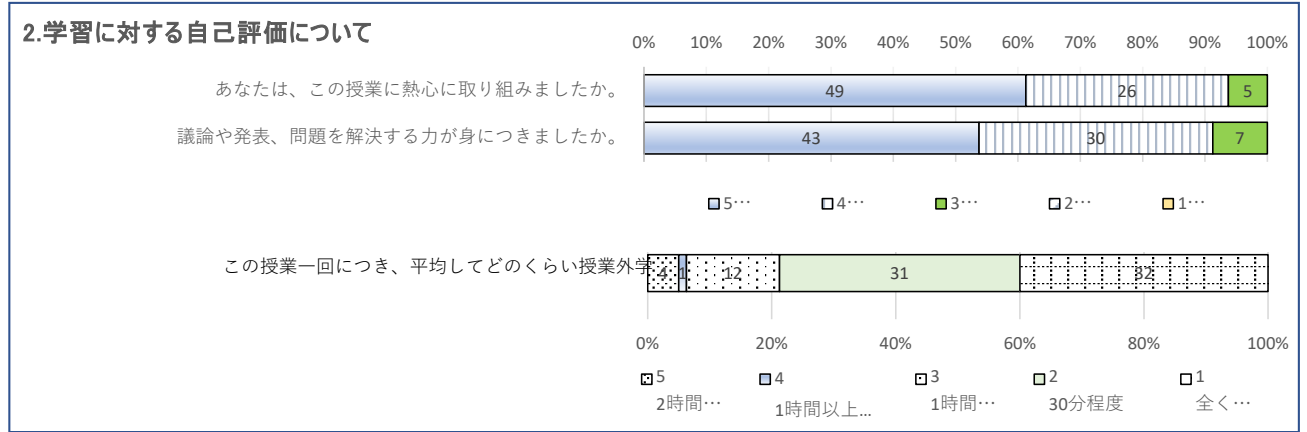
②課題と展望(授業改善方策)

「言葉」の授業全体を、後期の「言葉領域指導法」の授業内容に対する理論編という位置づけにしてみたが、学生には今一つ浸透しなかったようだ。授業の初めの発表学修と、授業内容とが遊離してしまわないように、発表後の指導の中で配慮する必要がある。また、授業の中で、子どもの言葉の発達の特徴を把握するまでの、さまざまな事柄(保育のねらい、子どもの成長、保育指針や教育要領、10の姿など)に対する学びを、大きな流れの中で学生に意識させられるよう整理が必要。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	51	27	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	55	23	2	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	57	22	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	28	7	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	48	28	4	0	0	4.6
総平均							4.6



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	49	26	5	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	43	30	7	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	1	12	31	32	1.9



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

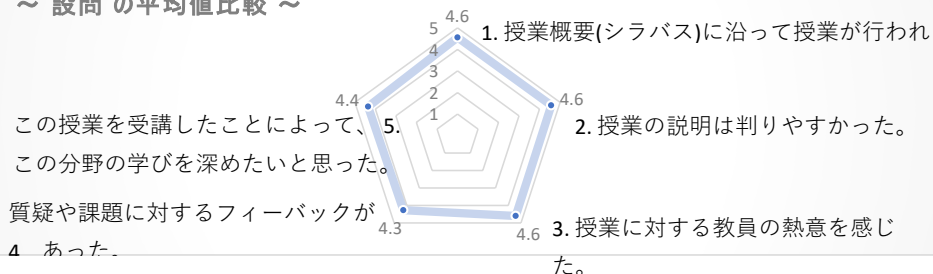
身体表現分野・音楽表現分野・造形表現分野の各担当教員3名が持ち回りで授業を担当した。一昨年度の遠隔授業、昨年度の60分短縮授業・30分課題レポートを経て、令和元年度以来、全15回の授業を90分で行うことができた。アンケート結果の総平均をみると4.6であることから、概ね高い評価が得られたものと振り返る。自由記述では、「座学ではなく、活動する場面も多くあったので、すごく主体的に行うことが出来て楽しかったです。また、子どもの前に立つという意識を持ちながら活動内容を行うことが出来たので、実際に保育者になるための予行練習のような授業だったと思いました。」「子どもの目線になり、こうしたらわかりやすい、こうすることで子どもも参加しやすいという風に考えることができました。この活動において、子どもの前で披露するための準備がとても大切で重要だと学びました。」などの記述があった。学生は表現に関する学びを深めることができたと推察する。

②課題と展望(授業改善方策)

第15回では実技試験を行っている。学生は音楽表現、造形表現、身体表現分野から一つを選択できるように設定している。今年度は、音楽表現であれば弾き歌い、造形表現はペープサート、身体表現は手遊びの実技試験を行った。これらの実技試験は保育現場でも必要とされるスキルであることから本科目において実施している。今後は、3領域の中から選択するのではなく、学生は3領域全ての実技試験に取り組めるようにシラバスを見直したい。これにより、さらに学修成果を得られるような授業を展開したいと考えている。

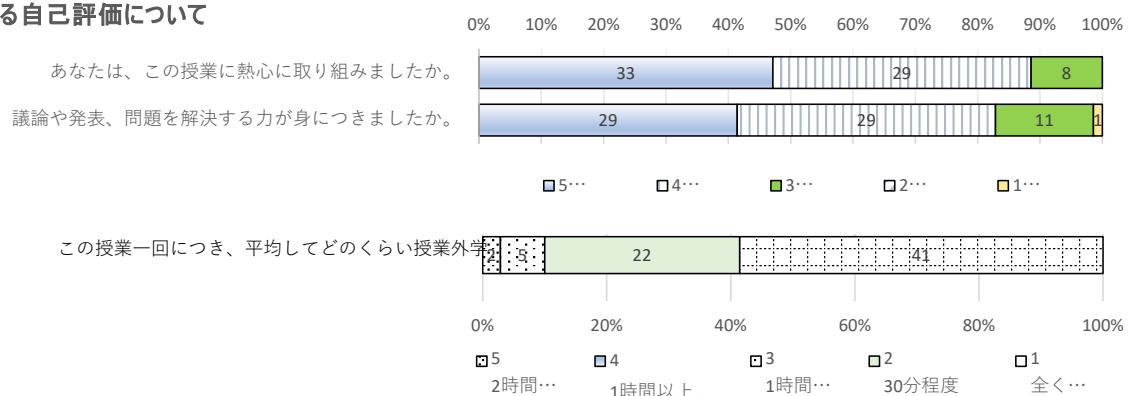
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	42	25	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	43	24	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	45	22	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	36	21	10	2	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	31	7	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	33	29	8	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	29	29	11	0	1	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	0	5	22	41	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

今年度は、コロナ禍による影響が少なく、以前のように通常通りに授業を行うことができ、大変よかった。

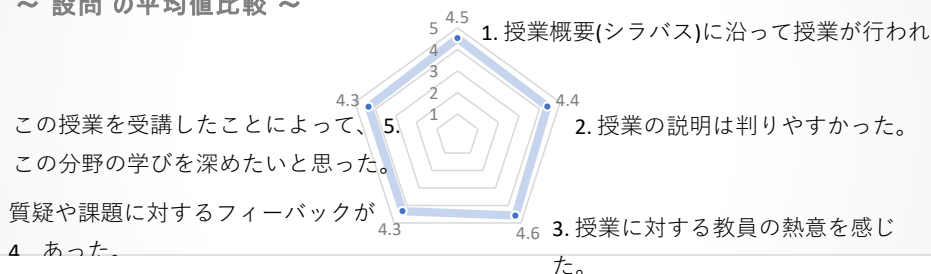
学生の授業姿勢が良く、課題に対しても、期限を守り、調べたり、考察がよくできるようになってきた。考察部分では、保育者像や子どもの人権についても考察することができ、課題を通して、学習意欲の向上に繋がる結果となった。また授業内での話し合い場面を設けることで、学生の学習意欲の引き出しや、他者の保育観を知る機会をつくることが出来た。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度の様に、課題提出や、話し合い、読み聞かせの発表等を行い、学生の意欲の引き出しや他者の保育観を知る機会を設けていきたいと考える。また、保育実習にも繋がるための、実践的な発表の機会を今後も設けて行きたいと考える。

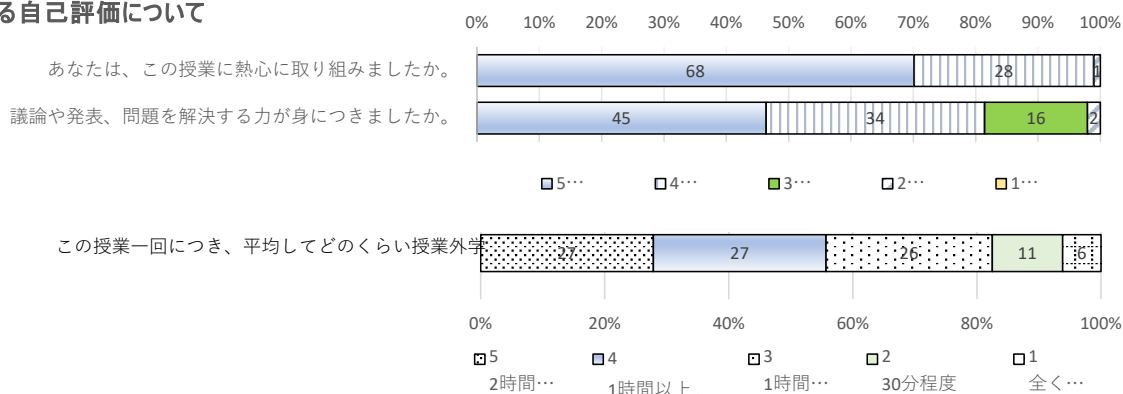
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	59	29	9	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	55	29	9	3	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	64	25	8	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	51	30	13	2	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	52	31	10	2	2	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	68	28	0	1	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	45	34	16	2	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	27	27	26	11	6	3.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

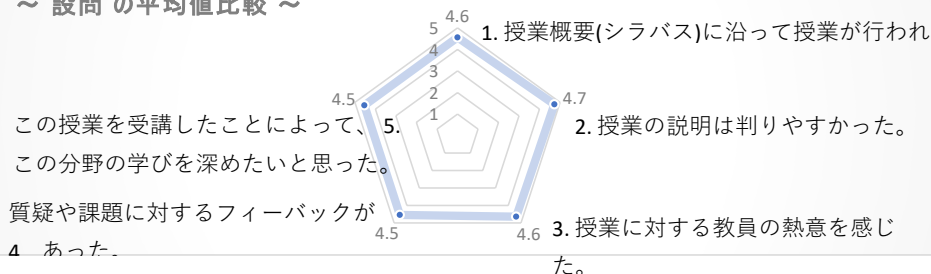
設問 I における5つの項目の平均は、5ポイントのうち、4.4ポイントであった。概ね良好な結果だと考えらえる。設問 I のそれぞれの項目でのポイントは(1)(3)と比べ、「(4)質疑や課題に対するフィードバックがあった」「(5)この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」が若干低い傾向にあった。

②課題と展望(授業改善方策)

この科目は、専任教員と複数の非常勤が担当している。担当教員全員で様々な情報の共有し、学生が学びを深めたいと思える環境を整えることが重要であると考え。学生の個々のレベルに応じた分かりやすい説明、取り組んできた練習に対する適切なフィードバックの実施を徹底していく。

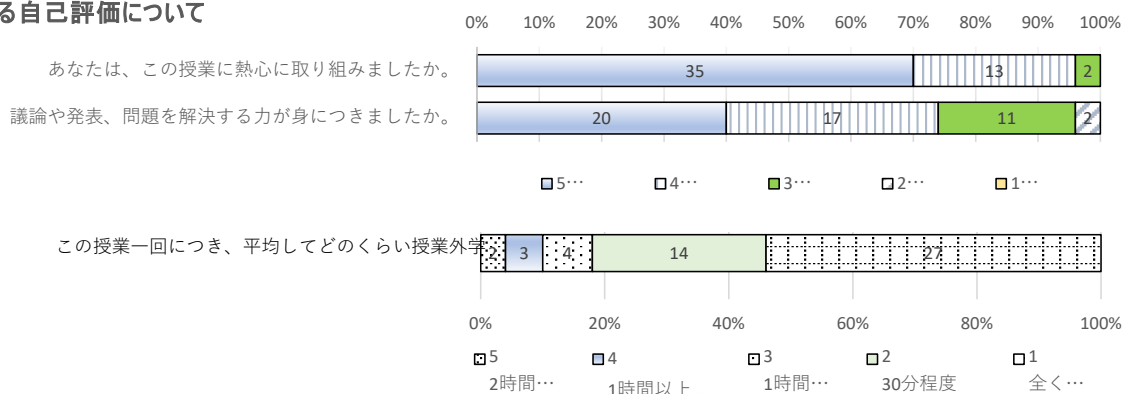
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	14	4	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	38	10	2	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	12	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	11	6	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	30	17	3	0	0	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	13	2	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	20	17	11	2	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	4	14	27	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

造形活動に対する学生の意欲が高い分、より個々人の表現を深め、技能の向上につながる授業を展開したいと思う。一方で、人と比較したり技術的な壁にぶつかるなどして、自信をなくす学生の姿もあった。短い時間の中で、自分や他者の表現をどのように捉えるかについての視点を授業の中に取り入れることで、学生の学びが向上していくと思う。

②課題と展望(授業改善方策)

現在のところ、造形活動に学生が集中して取り組めるよう、制作時間を重視した構成で授業を実施している。しかし、今後は発表の場や共同制作の場など、他者との意見交換ができる機会を増やしていく必要があると感じる。また、「楽しさ」だけで授業が終わることのないよう、活動の意味や保育現場での実践的な視点の伝達など、学びを言葉にしてフィードバックしていく必要がある。

科目コード: 1200

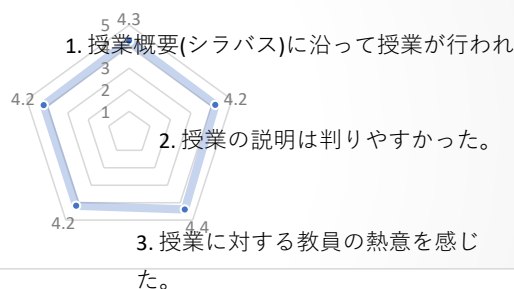
科目名 幼保2年 専門科目

回答者数: 478 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	221	176	75	3	3	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	209	170	88	7	4	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	257	157	59	3	2	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	194	181	98	3	2	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	205	163	101	5	4	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

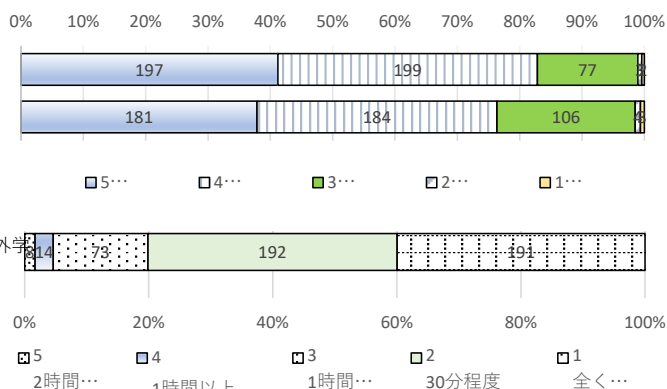
この授業を受講したことによって、
この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックが
あった。



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	197	199	77	3	2	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	181	184	106	4	3	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	8	14	73	192	191	1.9

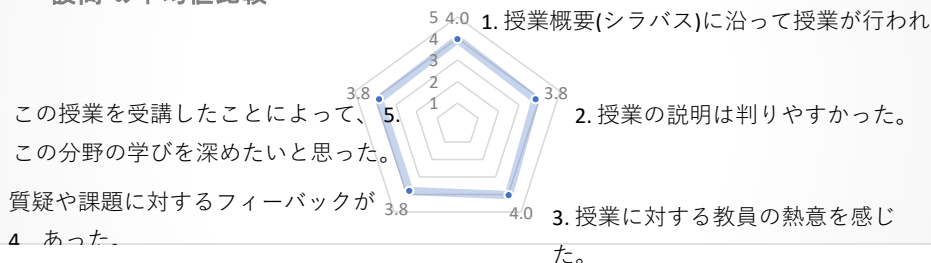
2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。



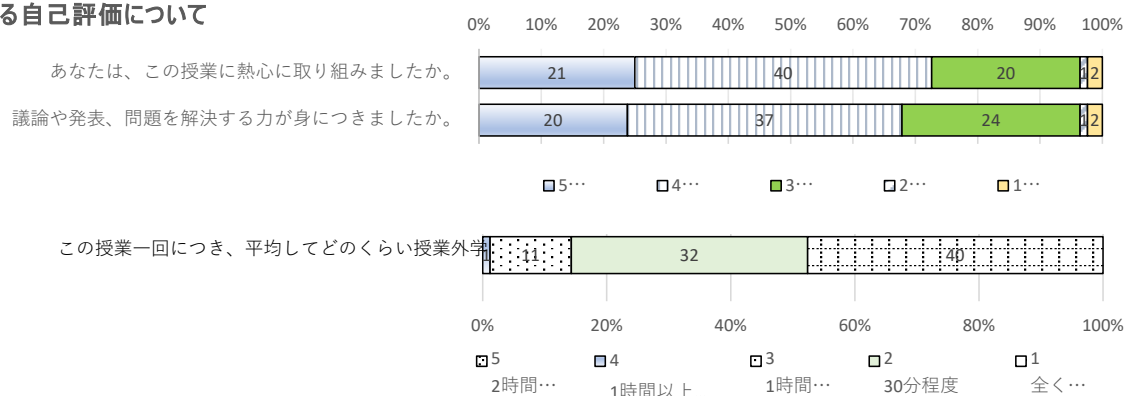
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	31	22	0	3	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	22	31	26	3	2	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	34	18	1	2	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	17	37	28	0	2	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	30	26	3	2	3.8
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	21	40	20	1	2	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	20	37	24	1	2	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	11	32	40	1.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「議論や発表、問題を解決する力」の向上が求められるが、57%が身に付いたであった。全体と比較すると0.2ポイント低く、特に、「問題を解決する力」は、学びを深めるためにも必要であり、今後の課題と考えた。

②課題と展望(授業改善方策)

「この分野の学びを深めたい」が3.8であり、全体と比較すると、0.4ポイント低かった。上記①の考察でも触れたが、学びを深めるための方策として、授業外学習の時間の充実を図りたい。

具体的には、①宿題や調べ学習の頻度を多くし、発表の機会を設けたい。

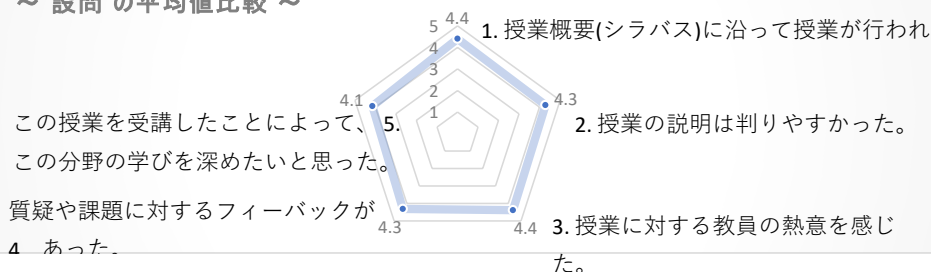
また、②授業課題について、学生同士で評価し合い講評を行う機会も設けていきたい。新型コロナウイルス感染防止対策を十分に考慮した上である。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	30	17	8	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	19	10	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	19	6	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	26	20	9	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	19	14	0	0	4.1

総平均

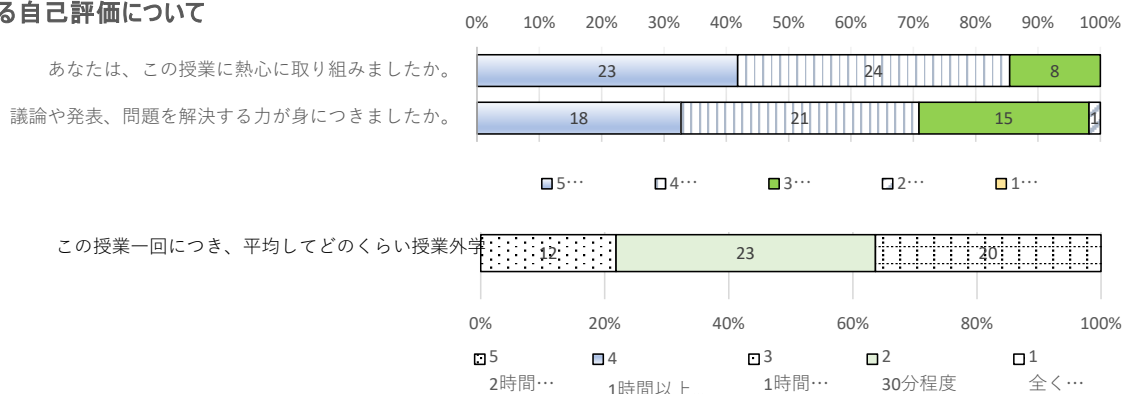
4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	24	8	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	21	15	1	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	12	23	20	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

在宅での学習の習慣がある学生は予習復習をし理解度も高い。しかし、設問Ⅱ(3)在宅外学習(予習復習)に「全くしていない」と「30分程度」と答えた学生が43名もいたことは、今後の対策が必要、と痛感した。

設問Ⅰ(2)の「授業の説明はわかりやすかったか」で低評価がなかったことは、大事な箇所は繰り返し復習(教科書のページに付箋をつけるよう指示し、何度もそのページを開けさせることで知識の定着を図った)することが役立ったと思われる。今後は、その知識を実際の保育現場でどう役立てていくか、学生なりの想像力や思考力構築が必要と思われた。

②課題と展望(授業改善方策)

学習は、予習復習があつてこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習に興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要がある。課題に真摯に取り組むことで疑問や質問が生じるからである。

また、講師からの一方的な講義ではなく、学生が自ら課題をまとめて考察できる機会を授業内で設けたい。

科目コード: 1203

科目名 子ども理解

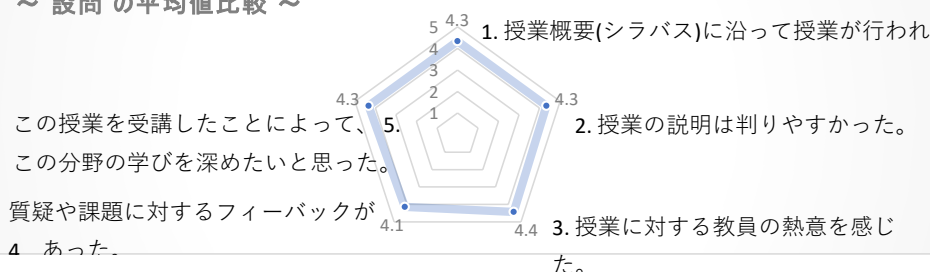
回答者数: 21 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習

担当者 高橋淳一郎

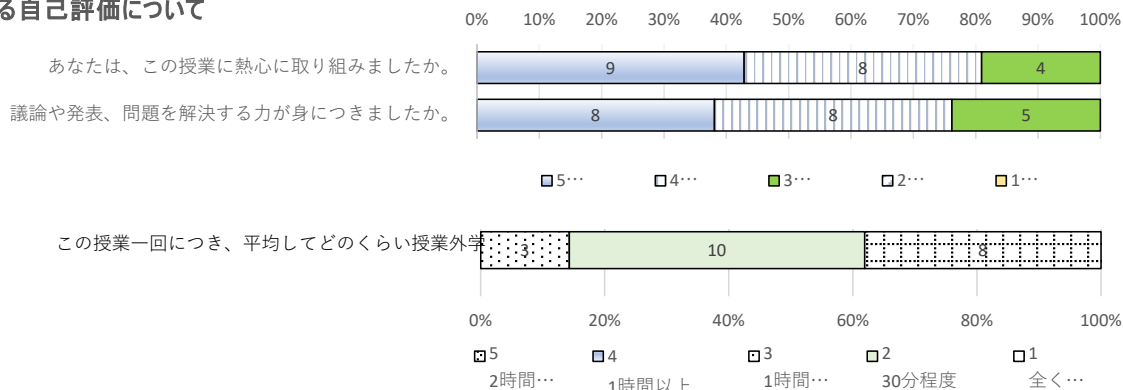
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	10	2	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	10	2	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	8	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	9	3	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	6	4	0	0	4.3
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	8	4	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	8	5	0	0	4.1
	項目	5 2時間	4 1時間以上	3 1時間	2 30分程度	1 全く	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	3	10	8	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

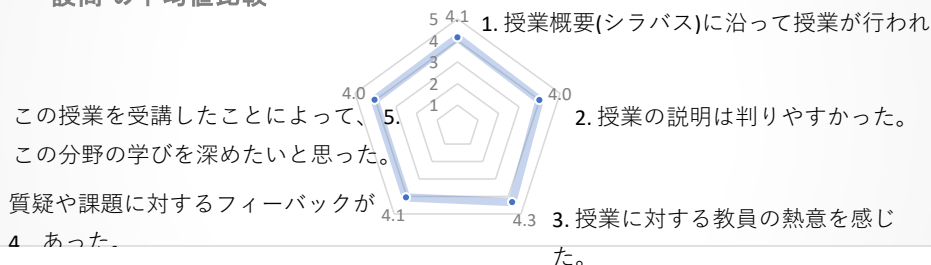
多くの学生がこの授業に対して好意的に受け止めていることが明らかになった。ただし、「説明」はわかりやすかったかもしれないが、「問題を解決する力が身についた」という回答は前者よりも低いことは課題である。授業形態が演習のため、授業時間外学習が少なくなるのは否めない。

②課題と展望(授業改善方策)

アンケート結果から、演習がまだ十分に足りていないことが伺える。これまで以上に学生自らが能動的に学ぶような、演習を中心とした授業に変換していきたい。

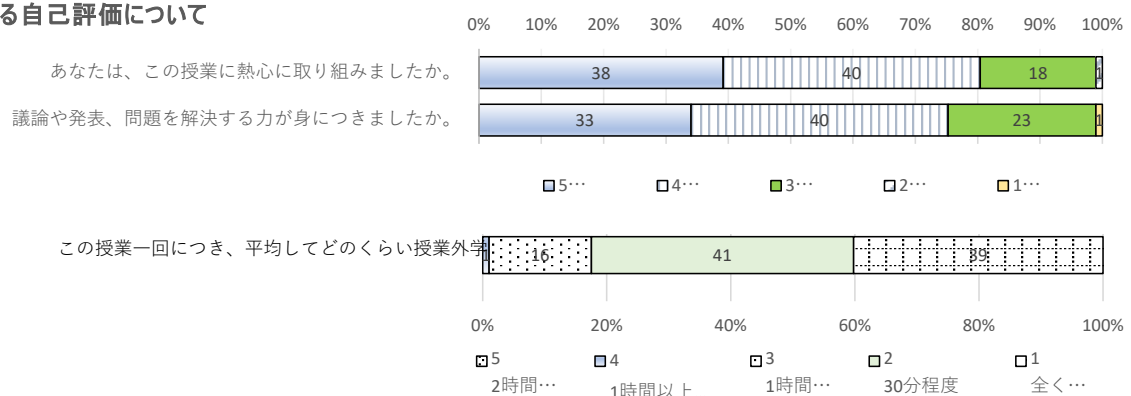
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	34	43	19	1	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	40	25	1	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	45	38	14	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	41	24	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	34	34	28	1	0	4.0
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	38	40	18	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	33	40	23	0	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	16	41	39	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

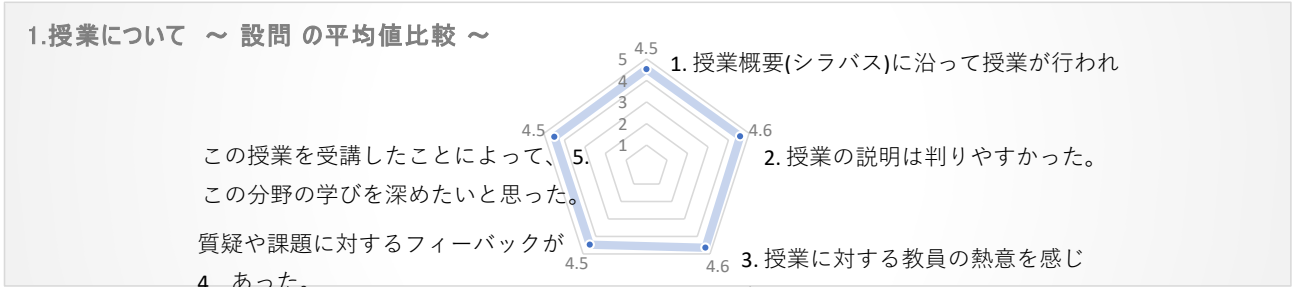
・平均が4.1でおおむね授業のねらいは達成できたと考える。ただ、1名が、「あまりそう思わない」と思っており、この点は、分析の必要がある。

②課題と展望(授業改善方策)

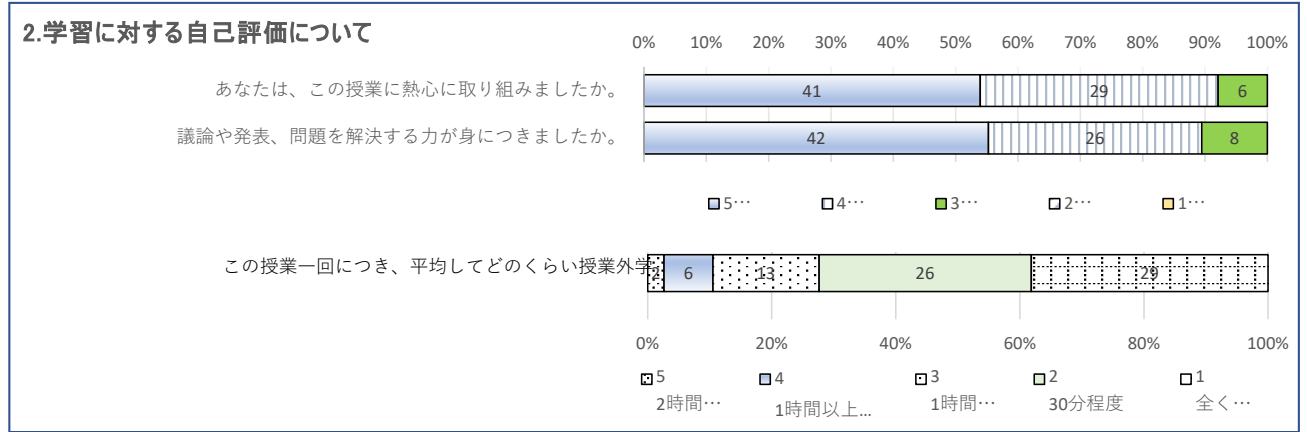
・第1回目の授業で、この授業の教授内容を厚生労働省が示すモデルカリキュラムなどを提示し、授業構成などを丁寧に説明し、何を学ぶのかを明確にしたいと考える。

・授業と関連する資料を復習教材として、たくさん配布したが活用されていない様子であった。このような点を今後、改善し、復習のポイントなどを詳細に説明する必要がある。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	45	26	5	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	46	27	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	50	25	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	42	28	6	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	43	27	6	0	0	4.5
総平均							4.5



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	41	29	6	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	42	26	8	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	6	13	26	29	2.0



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

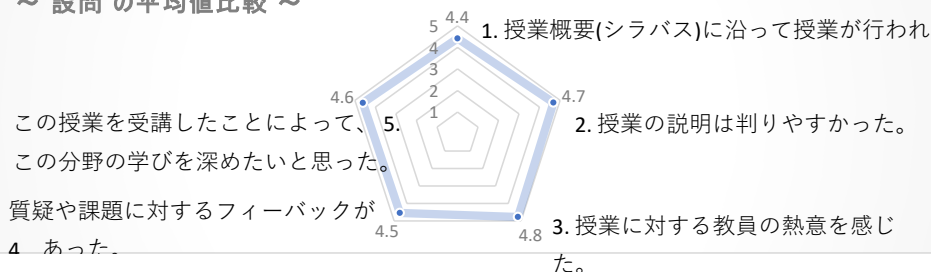
設問Ⅰにおける5つの項目の平均は、5ポイントのうち、4.5ポイントであった。また、「あまり思わない」「思わない」を選んだ学生の数はいずれも0名であり、良好な結果だと考えられる。設問Ⅱにおいて(3)のポイントが(1)(2)の項目と比較し低い傾向にある。授業時間外学習に対する学生の意欲を高めることが必要だと考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

令和4年度より、個人、グループにそれぞれによる課題提出や授業内発表の機会を数多く設定した。そのため予習・復習等に必要な時間数の増加に伴い設問Ⅱ(3)のポイントについて一定の数値が得られるのではないか、と推測していた。しかし、「全くしていない」を選択した学生がこの人数(29名)であった。なぜ、このような人数となったのか、本結果からは不明である。

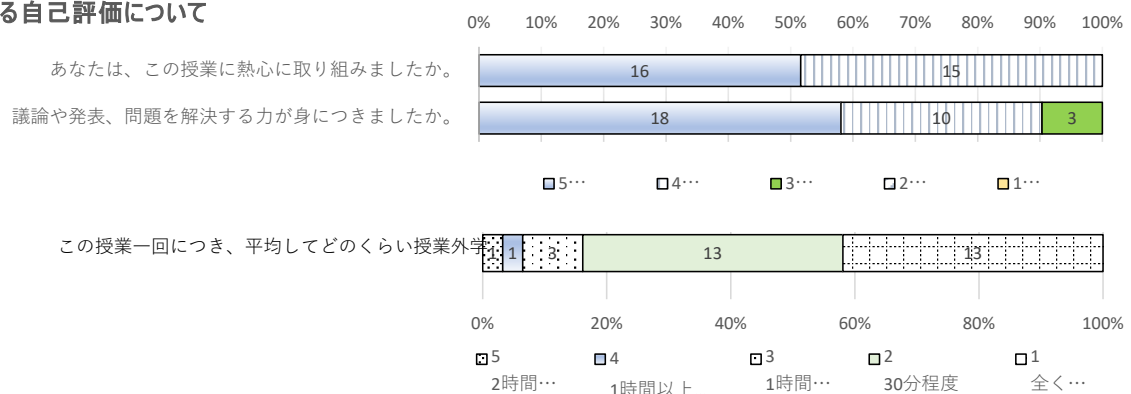
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	8	2	2	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	23	6	2	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	24	7	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	10	2	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	20	10	1	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	15	0	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	10	3	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	3	13	13	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

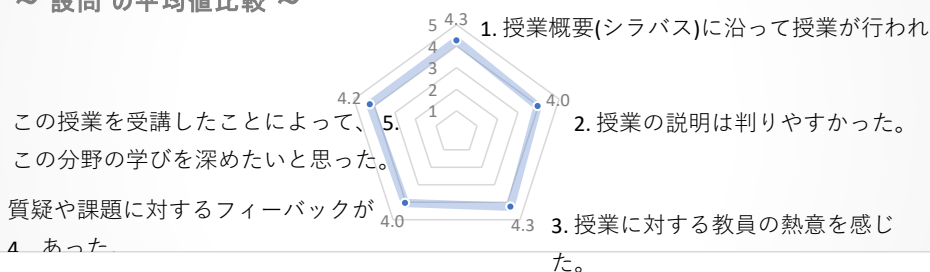
昨年に引き続き、コロナ対策を講じながら全ての授業を90分で行うことができた。これは、令和元年度以来のことである。そのため、各回の授業内容のポイントを入念に繰り返しながら身体を動かす授業ができた。履修者数に対して回答率は低いが、アンケート結果の総平均は4.6を示していることから、概ね高い評価を得ることができたと振り返る。自由記述では、「ダンスや身体の使い方や表現方法を身につけられました。人ではなく物になって表現をしたりする授業が面白かったです。」「保育士になって実践できそうな動きが沢山あって良かったです。自由に表現することの大切さを学ぶことが出来ました。」など、表現方法に関する気づきや楽しみながら学べたという記述内容があった。また、当該学年はクラス替えがあり、4月当初はクラス内でも学生同士のコミュニケーションが希薄な状況であった。本授業では、毎回異なるメンバーでグループワークを行ったことにより、「普段話すことのないクラスの子とペアになったりグループになったりするので、友達の輪や世界を増やせるのが良かったです。恥ずかしがらずにやれるようになりました。」という感想もみられた。こららを踏まえると、本科目の到達目標が達成され、学生にとって有意義な授業を行うことができたかと判断する。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度は履修者専用のTEAMSを作成し、諸連絡や欠課課題、動画などを提示した。また、昨年の経験も踏まえて、コロナ対策を講じながら15回の授業を安全に進行することができた。TEAMSを活用したことにより、リモート授業になったとしても、本授業は対応できる準備ができた。一方で授業アンケートの回答率の低さが気になる。今後は授業アンケートの回答の確認を留意したい。

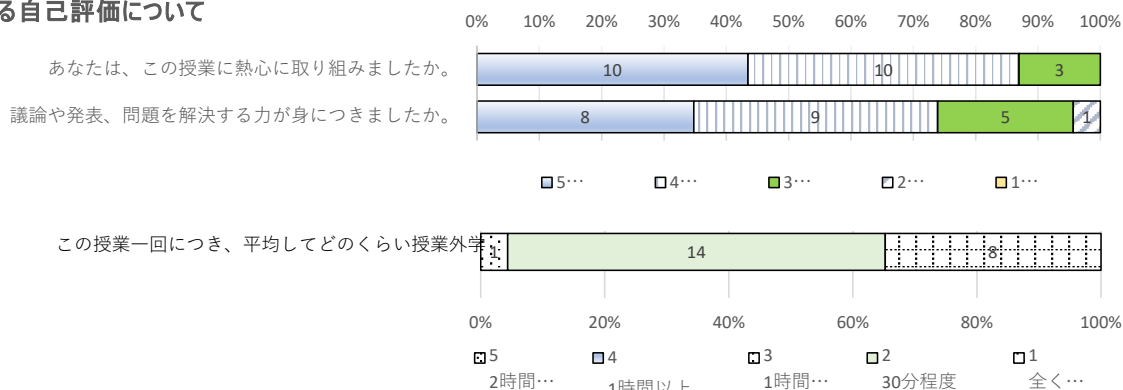
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	9	4	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	7	7	1	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	7	5	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	6	8	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	6	6	0	0	4.2
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	10	3	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	9	5	1	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	1	14	8	1.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

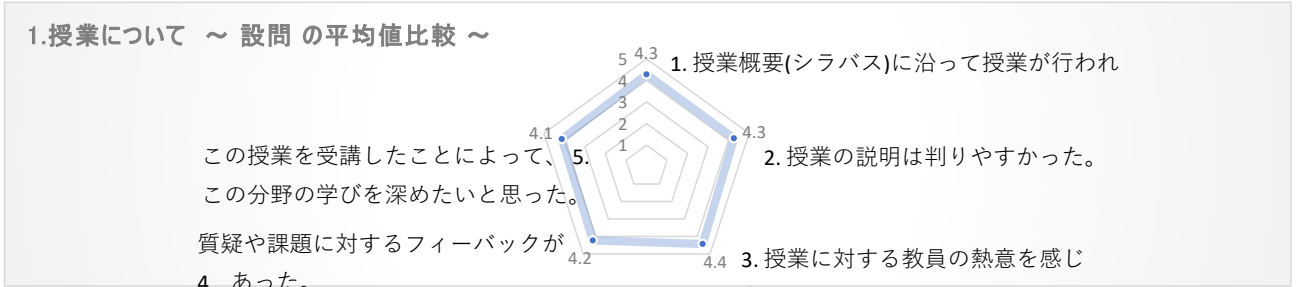
①現状(アンケート結果に対する考察)

使用している教科書は、具体的な事例がたくさん記載されている。子どもたちの「人間関係」は一人一人の思いや関わりが場面ごとに違うので事例で考えていくことが良いと思う。したがって、さまざまな事例が記載されているので、全般的に学生は話をよく聞いてくれている。毎回、課題レポートを提出してもらっているが真面目に取り組まれている様子がわかる。

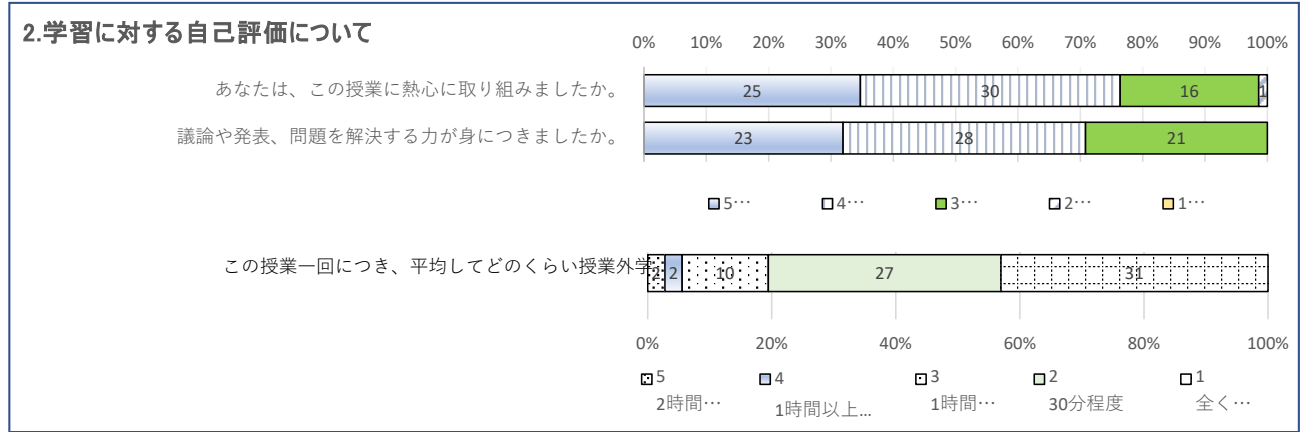
②課題と展望(授業改善方策)

ここ数年、コロナで学生同士が幼児理解について話し合うことができないことが現状である。「人間関係」は、子ども同士の関わりについてさまざまな意見があるので、グループ討議のような形式で一つの課題についてそれぞれの考えを深めていきたいと思う。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	28	12	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	32	28	11	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	43	18	10	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	26	15	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	27	16	0	1	4.1
総平均							4.3



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	30	16	1	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	28	21	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	10	27	31	1.8



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

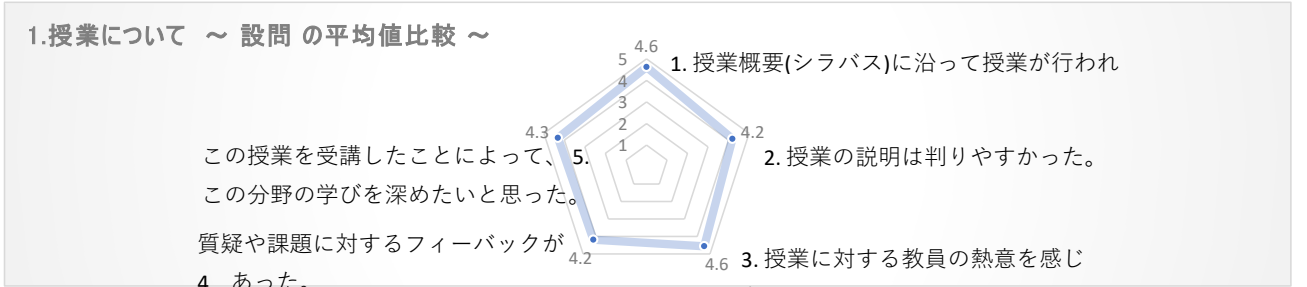
授業についての「分かりやすかったか」との問いに対して、「とてもそう思う・そう思う」と回答した学生が8割以上であった。また、「授業に対する教員の熱意を感じたか」については、「とてもそう思う」との回答が6割であり「そう思う」と合わせて8割5分であったことから、熱意が伝わったことは喜ばしい。反面、学習に対する自己評価では、熱心に取り組んだと回答した学生は7割6分にとどまり、更に内訳を見ると、「とてもそう思う」を「そう思う」が上回っていた。教員の熱意は感じながらも、学生自身の取り組みにはつながらなかった点を改善していく必要がある。

また、授業時間外学習については「全くしていない」と回答した学生が4割となっている点について、授業ごとの提出課題の取り組み時間が「復習」として認識されていないと考えられる。また、毎回ではないが「指導案の作成」「教材の作成」「プレゼン準備」などの課題も課しており、確実に授業時間外に取り組みがあったと考えられるが、こちらも「1回につき平均」「予習・復習」という問いでは含まないと認識している学生が多いと考えられた。いずれにしても、過度の負担感なく課題に取り組めたと解釈すれば、これはよいこととも解釈できると考える。

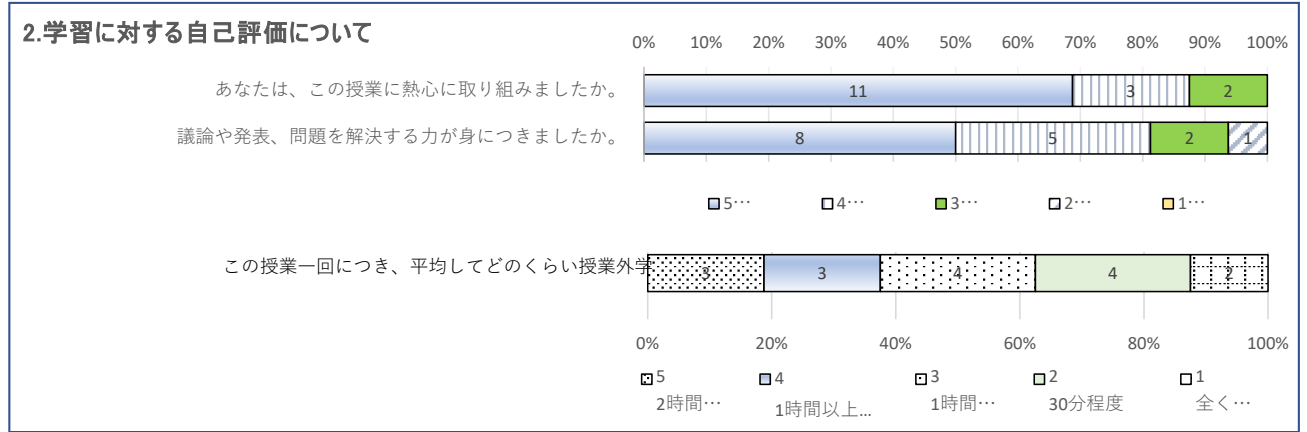
②課題と展望(授業改善方策)

障害のある子どもの話題が中心である本科目の特質から、幼稚園や保育園の一般的な子どもの保育内容や方法論に比べて、「身近さ」や「学ぶ必要感」を感じられない学生も多かったと考えられる。今後より一層、実際の保育現場を想像できるように工夫をすることで、授業への姿勢を変えられるようにしていきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	4	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	2	2	1	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	1	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	4	3	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	4	0	1	1	4.3
総平均							4.4



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	3	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	5	2	1	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	3	4	4	2	3.1



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

1年次の学習内容を発展させることを目標に、音楽理論とピアノ伴奏において高度なことに取り組んだ。各人のピアノのレベルに関係なく、全員が同じ課題に取り組んだことで、初心者レベルの学生は、授業外学習と繰り返し練習が不可欠となった。アンケート結果を見ると、学生は概ね教員の意図を読み取って、本授業の保育現場での重要性を理解していたように見受けられるが、ごく少数の学生にとっては、授業外学習が思うように進まず、重荷になっていた状況も散見される。

②課題と展望(授業改善方策)

音楽理論を踏まえた授業をさらに発展させ、音階や主要な和音をより高度に理解することで、保育現場における音楽指導がより円滑にできるように授業内容を発展させたが、学生の理解力に、個人差が出てしまったように感じた。

特にピアノの経験が浅い学生ほど反復練習が必要なので、今後は特に十分復習するよう指導し、保育現場で即応用できるレベルに到達させたい。時間外学習が少ない学生には、学生自身が必要な学びに自発的に取り組めるよう、気付きを与える授業を提供して行きたい。

今回、新たに合奏の楽しさを体験させることができた。保育現場での豊かな指導につなげられるように今後も授業に盛り込んでいきたい。